



春を楽しみに みんなで球根を植えよう ～みねやま植樹活動～

「芽がでやすいように優しく土をかけてあげてください」。10月16日の早朝、東那須野公園（みね山）に大原間スポーツ少年団10団体142人がスイセンの球根700個を植えました。同公園内には他の団体も協力し、多くの球根を植えています。3月になると黄色の鮮やかな花が園内の斜面を埋め尽くし、毎年、市外からも多くの観光客が訪れる名所になるほどです。植樹に参加する人の数が増えるほど、愛着のある公園になること間違いありません。



銀の玉に精神を集中 ～第31回日本ペタンク選手権大会～

10月1日～2日にかけて、第31回日本ペタンク選手権大会が塩原運動公園で行われました。ペタンクはフランス発祥のスポーツで、地面に置かれた的玉に向けて金属球を投げ合い、相手より近づけることを競い合います。この日も全国から男女各64チームが参加。本市からも男性の部に上厚崎のチームが参加しました。このチームで参加した人は「このような大会に出場でき、予選を勝ち上がることができた。とてもうれしい」と笑顔で答えてくれました。



1 火災だ！消火は迅速に（消火体験） 2 市民が創作した文化作品の数々 3 歯磨きの勉強中（健康祭） 4 地域の伝統芸能を披露（郷土芸能フェスティバル） 5 和牛の焼肉で笑顔があふれる



←人差し指から順番に力を入れて（緊張の搾乳体験）

見て、体験して、食べて、学んで ～産業文化祭・畜産フェア～

10月15・16日、にしなすの運動公園を中心とした特設会場で産業文化祭が行われました。地元企業の出店ブースや模擬店のほか、市民が創作した文化作品などが展示され、体験を通して多くの学びの場となっていました。

16日には畜産フェアが同時開催され、来場者は子牛とのふれあい体験、那須和牛の焼肉や地元産牛乳に舌鼓を打ち、畜産の魅力をギュウっと詰め込んだイベントを楽しんでいました。



お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ ～那須野が原博物館・親子体験チャレンジ～

日本でも定着しつつあるハロウィン。近年、若者を中心に大変な盛り上がりを見せています。

那須野が原博物館では、ハロウィンに向けて「帽子とマントで変身」をテーマにイベントを開催。親子で楽しみながら、フェルトやモールで帽子とマントを作成しました。

出来上がった作品を満足そうに身に付ける子どもたち。ハロウィン当日の「トリック・オア・トリート！」の声が聞こえるようでした。



地元のお嫁さんをみんなにお披露目 ～峯薬師嫁さん詣～

塩野崎にある薬王寺奥の院で、10月16日に峯薬師大祭が開催され、5人の花嫁が花嫁薬師様参りを行いました。この行事は、嫁いできた花嫁を地域の住民にお披露目するために江戸時代に始まったと言われています。

この日も白無垢や色鮮やかな着物に身を包んだ花嫁たちが、夫などの介添人に手を引かれながら薬師参りを行った後、集まった人たちに紹介されていきました。



はじめての体験にドキドキ ～美味しい上手いなすしおばら感謝祭～

10月2日、市役所西那須野支所前広場で、美味しい上手いなすしおばら感謝祭が開催されました。

会場ではヒップホップダンスやビンゴ大会などのステージイベントが開催されたほか、多くの模擬店や小・中学生を対象とした職業体験コーナーが設けられ、訪れた人たちを楽しませました。職業体験コーナーでは、壁塗りや重機操作、どら焼きづくりなどに子どもたちがチャレンジ。緊張しながらも普段できない体験に目を輝かせていました。



地元産の美味しいものがいっぱい ～那須塩原グ～フェス2016～

天候に恵まれた10月2日、市の特産品である牛乳やチーズなどの乳製品、その他の地元産の食材をPRし、子どもの食育を推進するためのイベントが黒磯公園などで開催されました。

地元生産者たちでつくる那須ナチュラルチーズ研究会が企画したもので、今年で2回目。この日もシェフによるチーズ料理の実演や、地元産のチーズをふんだんに使用した「チーズごはん」が販売され、訪れた人たちは1日を満喫していました。